

# 新磐田レポート

平成24年

夏号

2012 Vol.2

発行:磐田市議会会派「新磐田」 〒438-8650 磐田市国府台3-1  
Tel.0538-37-4938 Fax.0538-37-4845(議会事務局)  
E-mail shiniwata-kktmty@sala2.dti.ne.jp



## 防災対策

昨年の東日本大震災を契機に、市民意識が防災、特に地震や津波対策に関心が持たれるようになりました。磐田市としては当面、静岡県や国に対策要望を行うとともに、市独自でできることを優先して実施してきました。その中の一つとして、今回津波避難タワーを6カ所建設することになりました。

### 磐田市の主な防災対策

#### (1) 23年度まで実施済みの事業

- ① 海拔表示・津波注意の看板設置(130カ所)
- ② 民間津波避難ビルの調査・協定締結(82カ所)
- ③ 磐田市災害に強い地域づくり条例を制定

#### (2) 24年度の対策予定

- ① 地域防災計画の見直し
- ② 公共施設耐震化工事の前倒し・自治会公会堂の耐震化助成



- ③ 給食用食材の放射性物質調査
- ④ 津波避難タワーの設置(竜洋地区4基・磐田地区1基・福田地区1基)
- ⑤ 屋上避難のための屋外階段の設置(福田地区5施設・竜洋地区1施設)
- ⑥ 福田漁港内津波監視カメラの設置

## 議会報告会のお知らせ

会派「新磐田」で4回目の議会報告会を開催します。お近くの議会報告会に参加して頂き、皆さんのご意見、ご要望をお聞かせ下さい。

日	時	場所
7月15日	AM10:00~	福田公民館
15日	PM 1:30~	竜洋公民館
7月16日	AM10:00~	豊田福祉センター
16日	PM 1:30~	ワークピア磐田
7月18日	PM 7:00~	豊岡東公民館
7月20日	PM 7:00~	見付公民館

## 市町村広域災害ネットワーク

大規模災害に備えるよう磐田市として、ネットワークに加盟。主に応急資機材や物資の提供、職員の派遣、医療機関の応援が行われる。



### (3) その他

防災ラジオは、AM/FMラジオとして使用中でも、同報無線の放送に自動的に切り替わるもので、市役所で斡旋しています。また、150号線以南、海岸から2km以内で地域の人々も避難できる施設などに、経費の1/3以内で、500万円を限度とする補助制度もできています。

## 会派「新磐田」

子どもたちの天真爛漫な笑顔を見るにあたり、あらためて虚心坦懐、初心にかえり議員活動・議会活動に精励したいと思います。ご意見やご提案を真摯にお聞きし、「行動する新磐田」として、目に見える活動や具体的な政策実現に努力をしていきます。ご支援よろしくお願い申し上げます。



寺田辰蔵

議員になってからのテーマは「森と木」 夢と希望にあふれリズム感のあるまちづくり・地域づくり・生活づくりに今年も目一杯で、取り組んでいきたいと思っています。  
会派 代表  
総務副委員長等



加藤文重

いままで様々な場面での出会い、対話を大切にしてきました。これからも、スポーツの街じわた、市民の皆さんの安全・安心などを念頭において、徹底に活動していきます。  
民生教育委員  
中遠広域組合議員等



川崎和子

小さき声を行政に届ける為に、今年も磐田市内を駆け巡りたいと思います。福祉・教育分野の中、特に女性政策と障害者政策と向き合い、深めていく一年にしたいです。  
民生教育委員長  
社協評議委員等



玉田文江

お蔭さまで議員活動も17年。今年度は大役をお受けし緊張の毎日ですが、初心に戻り全力を尽くします。心育てる文化教育の充実と、誰もが安心できる街を、とことん目指して。  
市議会副議長  
総務委員等



松野正比呂

議会や行政の仕組みを学び、市内外の現場を歩き、市民の声に耳を傾けた3年間。任期の最終年度、市民に信頼される議会を目指し、議会と行政の見える化に全力で取り組みます。  
議会運営委員  
建設産業副委員長等



八木啓仁

大変な3.11、市民意識も含め暗い社会状況となりました。しかし私たちは、常に明るく安全安心幸せを追求していかなくてはなりません。皆さんの目標に立って努力します。  
建設産業委員  
農業委員等

## 平成24年度の新しい事業

### 福祉

- 障害児放課後児童クラブや児童デイサービスの拡大
- 障害者・高齢者の移送費助成の拡充
- 重度障害者(児)医療費の助成の拡大

### 教育

- 学習交流センターの開設
- 神明中・福田中の武道場の新築
- 小学校への電子黒板の導入
- 小中一貫教育の試行と推進

### 産業

- スマートIC設置と新平山工業団地拡大の可能性調査
- 下野部工業団地の開発と企業誘致
- 東名高速以北の光ファイバー網の整備

### 商業

- 福田漁港の食の拠点づくりの市場化テスト
- 体験や食をキーワードとした市内ツアー
- 磐田版まちゼミ・空き店舗を利用したチャレンジショップ

## 議会基本条例

### 議会や議員の活動を見える化したい!

今6月定例会に議員発議による条例が制定されました。議会基本条例と言われるものです。この条例は市議会においては最高位のもので、議会や議員の様々な活動が規定されています。

これまで市民の皆さんから「議会は何をしているのか分からない」「議員の活動が見えない」とか「市民の声の反映を」といった声が聞かれました。

市議会ではこれまで様々な活性化を図る手法、例えば一問一答方式やインターネット中継、予算委員会の設置等々を導入、実施してまいりました。

しかし、これらの活性化策が市民の皆さんに、見える形で充分伝わっていなかったことの反省と、多様なご意見にきちんと応えるために、この磐田市議会基本条例を、議員全員の発議で制定したものです。

### 〈主な内容〉

- 1 議会報告会の開催
- 2 市民の的確な声の把握と反映
- 3 情報の積極的発信、市政の監視
- 4 議員間の自由な討議や政策の立案・提言・提案
- 5 本会議、常任委員会等の原則公開 等々



### 国会議員を囲んで

市政は国や県と大きな関連があります。昨年の地元の県会議員3人に引続き、小山衆議院議員と国会報告を含め勉強会を開催しました。特に防災対策を中心に地域の課題について、意見交換及び要望活動をしました。

## トピックス

### 市長部局と教育委員会の壁をのり越え 市窓口「こども課」を設置

従来から幼稚園は教育委員会(文部科学省)、保育園は市長管轄(厚生労働省)となっていて、市役所の手続きなど窓口も分かれていましたが、昨今の子育て環境などを踏まえてこども課が設置されました。保育や幼児教育については一つの窓口で対応が可能となりました。お気軽にご相談下さい。



### 農業の発展に理解と担い手育成を 「いわた農業塾」の開催

今年も「一菜一心いわた農業塾」が開催されます。遊休農地の増加など、農業をとりまく環境はたいへん厳しいものになっています。国は人・農地プランを導入して将来に向けた取り組みをしようとしています。磐田は独自で担い手を育てようと農業塾の開講となりました。参加してみましよう。



### 観光振興の拠点に新規!ニューアル 駅前「観光案内所」を移転

素材や資源はたくさんあるといわれながら、観光行政は磐田市で一番取り組みの弱いところではないかといわれています。今回、駅前に観光案内所が移転されました。磐田を訪れる人には心からのおもてなしをしたいものです。必ず活気がでてくるのではないかと考えます。



# 事業進捗状況



## 太田川下流の浚渫工事が進む

水害対策の一環として、今まで豊浜橋から二瀬橋までの川幅を拡げる工事を順次行ってきています。H23年度では、富里遺跡の対岸を中心として行ってきましたが、今年度はH22～23年度に調査を行った、元島遺跡とその周辺の浚渫を行う予定です。安全対策とあわせ、自然と調和のとれた対策を考慮しながら、進めていくことになっています。

## 天竜川左岸歩行者・自転車道完成

国土交通省の「かわまちづくり支援制度」のもと、天竜川左岸河川敷に、掛塚橋から一雲斎川合流点下流付近まで、延長12.8キロの歩行者自転車道が完成しました。自然とふれあひながらの憩いの場、健康づくりそして地域活性化を目的に整備されたものです。以前に比べ河川敷がきれいになりました。みんなで維持できるよう努力しましょう。



## コンクリート堤の防潮工の施工

昨今の台風被害等によって、竜洋地区大中瀬付近の防潮堤が大きく被害を受けたため、当面、H27年までの5年間で、コンクリート堤の防潮工の施工を行うことになり、海拔9mとなる工事が進められています。地震津波が言われている中、国交省管轄の6m、防災林対策管轄としての農水省の9m、統一できないものかと思えます。

## 新東名スマートIC建設に努力

豊岡地区の新平山工業団地に続き、民間とタイアップした下野部工業団地(約49ヘクタール)の開発が進められています。津波によって今まで沿岸部にあった企業が、より高台への移転希望が多いのも事実です。また、それらと連携して磐田の将来発展を見据え、新東名高速のスマートIC設置の可能性を調査しています。できるといいですね。



## 磐田バイパス下り2車線が完成

毎日たいへん混み合っていた、国道1号磐田バイパスの4車線化工事が、平成24年度完成に向けて進められています。そのうち、下り線側の2車線が完成しました。天竜川橋の4車線化とあわせ、バイパス下りも完成したことから、朝夕の通勤時間帯も、たいへんスムーズに通行が出来るようになりました。永年の懸案が少しづつ解消されてきました。

## 市立総合病院の腫瘍センターが稼動

中東遠の基幹病院として、日々進歩している磐田病院で懸案であった腫瘍センターが、6月より稼動しています。総工費約18億円をかけて、最新鋭の高精度放射線治療装置、ノバルスTXを2台導入し、高度ながん診療体制の充実を目指しています。日本人の死亡原因第1位となっているがん、患者さんにとって大きな力になることを期待します。

